

## 学校統合に係る避難施設等について

「町田市新たな学校づくり推進計画」に基づく学校統合に係る避難施設について、学校統合に伴う工事期間中や閉校後においても、想定される避難者数を受け入れられることが確認できましたので、報告いたします。

併せて、令和6年（2024年）第3回町田市議会定例会において、行政報告を行った学校跡地に引き継ぐ避難施設機能についても、報告いたします。

### 1 避難施設における避難者の受け入れについて

「町田市地域防災計画（2023年度修正）」では、想定避難者数を38,941人と推計しています。2040年度までの学校統合における避難施設について、工事期間中や閉校後においても、既存の避難施設がある地域の中で、想定されるすべての避難者の受け入れスペースを確保できることを確認しました。

具体的には、2025年度から2040年度にかけて、全避難施設のうち、最も想定避難者数が多い町田第5小学校においても、建替期間中の仮設校舎において、想定避難者数が1,549人であるのに対して、1,577人（体育館330人、特別教室782人、普通教室465人）の受け入れが可能です。（※次頁の参考資料参照）

### 2 既存の避難施設に加えて学校跡地に整備する避難施設機能

上記1の想定避難者数38,941人を受け入れる避難施設に加えて、学校跡地において原則100人※<sup>1</sup>程度の受け入れ可能な避難スペースを確保するとともに、給水機能としての応急給水栓や受水槽など、災害時のインフラ支援にあたる機能を引き継ぎます。

学校跡地に整備する避難施設機能

機能	具体的設備
避難施設※ <sup>2</sup>	避難スペース（居室）
給水	応急給水栓 受水槽
トイレ	マンホールトイレ
給電	非常用発電機
通信	防災行政無線 特設公衆電話
備蓄倉庫	災害対策用物資の備蓄（水・食料等）

※1…平時の活用に応じて変更あり。

※2…避難施設は、避難した居住者等が災害の危険がなくなるまで一定期間滞在し、又は災害により自宅へ戻れなくなった居住者等が一定期間生活する施設であり、政令等で定める基準に適合する必要がある。

【参考資料】 想定避難者数が多い避難施設における避難者推計と収容可能人数

施 設 名 ※ 3	避難者推計 (人) ※ 3	施設内全体			
		収容可能人数 (人)			2025年度時点
			体育館	特別教室数	普通教室数
町田第五小学校	1,549	1,577	330	782	465
南第三小学校	1,297	1,347	290	707	350
南第一小学校	1,197	1,551	281	625	645
小山ヶ丘小学校	1,065	1,773	467	493	813
町田第二小学校	971	1,262	272	581	409
南つくし野小学校	954	1,634	272	370	992
町田第四小学校	938	1,428	245	689	494

※ 3…「町田市地域防災計画資料編（2023 年度修正）」から引用。